

家計調査にみる貯蓄及び負債現在高

平成20年平均

国では、平成12年まで家計調査の附帯調査として貯蓄動向調査を毎年12月末日現在で世帯の貯蓄及び負債現在高に関して調査していましたが、近年貯蓄の水準が高まり、貯蓄が収支に与える影響が大きくなってきたため、世帯の収支との関係进行分析することを目的に平成14年1月から貯蓄・負債現在高についても家計調査の中で調査を実施しています。

高知市の結果（二人以上の世帯）

総務省が平成21年6月にまとめた家計調査報告（貯蓄・負債編）によると、高知市の調査結果は（二人以上の世帯86世帯について集計）は、平均世帯人員3.04人、平均有業人員1.31人、世帯主の平均年齢54.3歳、持家率67.9%となっています。

(1) 平均貯蓄現在高は1571万円

平成20年平均における1世帯当たりの貯蓄現在高は1,571万円となっています。

貯蓄の種類別にみると、定期性預貯金が673万円（貯蓄現在高に占める割合42.8%）と最も多く、次いで生命保険など375万円（同23.9%）、有価証券257万円（同16.4%）、通貨性預貯金257万円（同16.4%）、金融機関外9万円（同0.6%）となっています。（四捨五入のため、構成比の合計は、100%と一致しません。）

年間収入は578万円で、貯蓄年収比（貯蓄現在高の年間収入に対する比）は、271.8%で、貯蓄現在高は年間収入の約2.7倍となっています。

表1 平均貯蓄現在高

	貯蓄現在高（万円）						年間収入 （万円）b	貯蓄年収比（%） a/b
	a	通貨性預貯金	定期性預貯金	生命保険など	有価証券	金融機関外		
高知市	1,571	257	673	375	257	9	578	271.8
全国平均	1,680	290	696	384	270	39	637	263.7

(2) 平均負債現在高は473万円

平成20年平均における1世帯当たりの負債現在高は473万円となっています。

負債の種類別にみると、住宅・土地のための負債が412万円（負債現在高に占める割合87.1%）と最も多くなっています。

表2 平均負債現在高

	負債現在高（万円）				負債現在高に占める住宅・土地のための負債割合（%） b/a	年間収入 （万円） c	負債年収比（%）	
	a	住宅・土地のための負債	住宅・土地以外の負債	月賦・年賦			負債現在高	
		b					a/c	住宅・土地のための負債 b/c
高知市	473	412	51	10	87.1	578	81.8	71.3
全国平均	498	444	37	16	89.6	637	78.2	69.7